

福岡県循環器病対策推進計画に基づく取組

資料1

施策			個別施策	計画 頁番号	事業概要	取組内容(実績:令和5年度)
項目	区分	内容				
1 循環器病の予防や正しい知識の普及啓発						
(1) 生活習慣病の発症、重症化予防の取組の強化						
		・生活習慣病の予防の推進	15	望ましい生活習慣や基礎疾患の管理の重要性に関する普及啓発、保険者等と連携した生活習慣病の予防や改善に係る取組を推進する。	〈食生活〉 ・減塩レシピコンテストによる「スマソルレシピ」の開発や同レシピを基にした減塩弁当の販売などを行う「スマートソルティングプロジェクト」の実施 開発レシピ数:93 ・健康づくり県民運動HPに減塩啓発ページを追加 ・ヘルシーメニューを提供するふくおか食の健康サポート店の登録促進 登録店舗:1,744 〈運動〉 ・ウォーキング等を促すための「ふくおか健康ポイントアプリ」の運営、周知 ・市町村が開催するスロージョギング等の健康教室への補助(10市町村、37回) ・スロージョギング普及員フォローアップ研修会(1回)、体験会(2回)の開催 ・ロコモ予防推進員の育成、普及啓発(活動回数9,754回、延べ104,581人)	
				たばこが健康に及ぼす影響に関する普及啓発や禁煙支援、健康増進法に基づく受動喫煙防止対策を推進する。	・たばこ対策推進会議において、たばこ対策の具体的な方策を協議(1回) ・禁煙相談員の養成及び卒煙サポート薬局の登録による支援を実施 禁煙相談員(新規):48人 卒煙サポート薬局(新規):29件 ・20歳未満の者に対して、喫煙防止セミナーの開催(各保健所で実施:計8回開催、延べ327人参加) ・県内全高校に対して、喫煙防止を図る啓発物(リーフレット等)を作成、配布	
				歯周病と全身の健康との関連や、歯周病の予防方法について理解を深めるための啓発を行う。	・事業所の従業員等を対象とし歯周病と全身疾患の関連性や歯科健診の重要性等に関する研修会を実施 実施事業所数:24事業所 参加者数:420人	

施策			個別施策	計画 頁 番号	事業概要	取組内容(実績:令和5年度)
項目	区分	内容				
		・生活習慣病の予防の推進		15	アルコールに関する正しい知識の普及啓発をおこなうとともに、アルコールに関する問題を有する者に対する支援体制の整備を図る。	・大学生等の若い世代向けに、アルコール健康障害や適正飲酒に関する情報ガイドブックを県内大学等に配布 ・11月10日～16日のアルコール健康問題啓発週間に、下記の啓発を実施 ①通勤者を対象とした街頭啓発(適度な飲酒に関すること) ②県ホームページ、県公式LINE・Xに情報を掲載 ③各保健福祉(環境)事務所にてアルコール関連冊子の配布、ポスター掲示を実施 ・大学等の保健管理者を対象に、「若い世代のお酒のトラブル予防研修会」を開催(1回) ・アルコール関連問題に係る連携会議を開催(2回) ・各保健所にてアルコール関連対策事業を実施
		・特定健康診査・特定保健指導の実施率の向上等に向けた取組	○特定健康診査実施率向上	17	保険者協議会など関係団体と連携した普及啓発及び情報提供を行う。	・9月の健(検)診受診促進月間に合わせ、保険者協議会など関係団体と作成した受診勧奨チラシを配布 ・ナッジ理論を活用した特定健診受診を促すチラシ等の配布 ・特定健診受診意欲を高めるため、特定健診の結果通知に「健康年齢」と改善アドバイスをお知らせするモデル事業を実施(7市町) →7市町のうち1市町は、令和6年度も市町村単独で継続実施
			○特定保健指導の効果的な実施	17	保険者協議会など関係団体と連携し、保健指導従事者を対象とした研修を実施することで、より効果的な特定保健指導を推進する。	・保険者協議会など関係団体と連携し、保健指導従事者を対象とした研修を実施 特定保健指導従事者研修会:2回(Web)
			○高血圧、心房細動等の未受診者対策や必要に応じた保健指導などの推進	17	生活習慣病等の治療や検査が必要な者に対して受診勧奨が適切に行われるよう、市町村、各保険者及び関係機関と連携して取組を推進する。	・糖尿病をはじめとする生活習慣病等の治療や検査が必要な者に対し、受診勧奨が適切に行われるよう、市町村、各保険者及び関係機関と連携して取組を実施 生活習慣病重症化予防連絡調整に係る支援(会議・研修会を含む):25回 福岡県糖尿病対策推進会議:2回 福岡県糖尿病性腎症重症化予防対策協議会:1回
			○ナッジ理論の活用	17	特定健診の受診率が低いまたは低いと想定される層に対し、ナッジ理論を活用したSNS広報を行い、健診受診率向上を図る。	・令和4年度に作成した広告のデザインを活用したチラシを作成し、市町村や保健福祉(環境)事務所、マックスバリュ、郵便局、ハローワークに送付し、配架を依頼
	(2) 循環器病に関する正しい知識の普及啓発					
		・早期受診の推進(循環器病の前兆及び症状、発症時の対処法等の啓発)	○知識の普及啓発	19	県民に対して循環器病の症状、発症時の対処法等について周知を行う。	「福岡県循環器病総合支援センター」と協力して次の取組を実施 ・県民向け啓発活動 ①脈博HEARTBEATEXPO2023「トークショー」「ミニレクチャー」 ②第14回県民公開医療シンポジウム ③Web市民公開講座 ・啓発物の作成、関係機関等への積極的な配付 ①福岡県循環器病総合支援センター 相談リーフレット 配布数約790部 ②脳卒中あんしん連携ノート ・県健康ポイントアプリを活用した循環器病予防に係る情報発信 ・県広報番組による相談窓口としてのセンターの紹介 ①FBS知っとくふくおか ②KBCとっても健康らんど

施策			個別施策	計画 頁番号	事業概要	取組内容(実績:令和5年度)
項目	区分	内容				
		・早期受診の推進(循環器病の前兆及び症状、発症時の対処法等の啓発)	○症状出現時における対応などの県民への啓発	19	県民に対する自動体外式除細動器(AED)の普及啓発を図る。	・AEDの設置及び救急法等講習会の実施 救急法等講習会を本庁及び各保健所にて実施(延べ236人受講) 令和4年中の救命講習受講者は91,941人
			○脳卒中や心不全の患者とその家族への情報提供	20	脳卒中や心不全等に関する様々な情報を掲載した冊子の活用を促す。	「福岡県循環器病総合支援センター」と協力して次の取組を実施 ・「脳卒中あんしん連携ノート」の作成、配布。電子版も作成し、福岡県循環器病総合支援センターHPに掲載
2 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実						
(1) 救急搬送体制の整備						
		・専門的治療が実施可能な医療機関に早期に到着できる救護体制の充実	○病院前救護体制の充実	24	救急業務高度化推進事業	・県内の救急業務の充実強化を図るため、救急業務メディカルコントロール協議会を実施 福岡県メディカルコントロール協議会の開催(2回) 県内4地域のメディカルコントロール協議会の開催(8回) 気管挿管救急救命士認定登録委員会の開催(3回)
				24	県民に対する自動体外式除細動器(AED)の普及啓発を図る。	・AEDの設置及び救急法等講習会の実施 救急法等講習会を本庁及び各保健所にて実施(延べ236人受講) 令和4年中の救命講習受講者は91,941人
			○救急医療体制の強化	24	・救急医療を担う医療機関の施設整備による診療機能維持を図る。 ・救命救急センターにおいて、重篤な救急患者に対応するため必要な医療機器の整備を図る。	・救急医療施設等の設備費、施設整備費及び運営費の補助 救急医療施設等整備費補助金 8施設 5,241,000円 救急医療施設等設備整備費補助金 1施設 5,180,000円 救急医療施設運営費等補助金 2施設 338,992,000円
			○医療機関相互の連携の促進	24	救急医療機関と他の医療機関の連携	(令和6年度は地域における会議等で地域の実情に応じた取組の検討を予定)
			○循環器病対策に係る人材の育成	24	医療従事者等を対象とした、循環器病に関する研修会を開催する。	「福岡県循環器病総合支援センター」と協力して次の研修会を実施 ・第7回よかよかネットワークの会～地域で心不全再入院を防ぐ取り組み～(参加状況:15医療機関、63人) ・第8回よかよかネットワークの会 ～急性期病院から地域生活に戻るための医療連携の強化～(参加状況:22医療機関、71人) ・心不全、脳卒中後遺症に対する治療と仕事の両立支援を考える(参加状況:17医療機関、58人)

施策			個別施策	計画 頁番号	事業概要	取組内容(実績:令和5年度)
項目	区分	内容				
	(2) 急性期から慢性期までの切れ目のない医療提供体制の構築					
	・脳卒中に関する医療提供体制	○福岡県循環器病総合支援センターの設置	29	脳卒中の相談支援や情報提供等を担う福岡県循環器病総合支援センターを設置し、患者やその家族に対する支援を行う。	「福岡県循環器病総合支援センター」に相談窓口を設置し、患者やその家族に対する支援を実施 ・年間相談件数175件 脳卒中91件(院外8件)	
		○脳卒中に関する回復期、維持期・生活期患者への支援	30	・各郡市区医師会へ在宅医療体制推進に係る取組の補助を行い、包括的かつ継続的な在宅医療提供体制の推進を図る。	・在宅医療提供体制充実強化事業 補助実施:30郡市区医師会	
				・在宅医療の関係者からなる会議を開催し対策の協議及びネットワーク構築を図る。	・在宅医療推進協議会(4回)	
				・福岡県地域在宅医療センターにおいて、各地域における在宅医療・介護連携にあたっての課題検討、関係機関との情報共有・連携を図る。	・地域在宅医療センター:9保健福祉環境事務所に設置運営 地域在宅医療推進協議会:9回 相談実績:約2,226人	
		○脳卒中对策に係る人材の育成	30	保健・医療従事者等を対象に脳卒中に関する研修会を開催し、資質の向上を図る。	「福岡県循環器病総合支援センター」と協力して次の研修会を実施 ・第7回よかよかネットワークの会～地域で心不全再入院を防ぐ取り組み～(参加状況:15医療機関、63人) ・第8回よかよかネットワークの会～急性期病院から地域生活に戻るための医療連携の強化～(参加状況:22医療機関、71人) ・心不全、脳卒中後遺症に対する治療と仕事の両立支援を考える(参加状況:17医療機関、58人)	
	○多職種が連携した地域包括ケアシステムの構築	30	在宅医療や介護及び福祉の連携を推進するため、医療や介護・福祉等の関係者を対象とした連携のための研修会を開催する。	(令和6年度から実施)		
	・心血管疾患に関する医療提供体制	○福岡県循環器病総合支援センターの設置	36	脳卒中の相談支援や情報提供等を担う福岡県循環器病総合支援センターを設置し、患者やその家族に対する支援を行う。	「福岡県循環器病総合支援センター」に相談窓口を設置し、患者やその家族に対する支援を実施 ・年間相談件数175件 心臓病84件(院外16件)	
		○心血管疾患に関する回復期、維持期・生活期患者への支援	37	・各郡市区医師会へ在宅医療体制推進に係る取組の補助を行い、包括的かつ継続的な在宅医療提供体制の推進を図る。	・在宅医療提供体制充実強化事業 補助実施:30郡市区医師会	
				・在宅医療の関係者からなる会議を開催し対策の協議及びネットワーク構築を図る。	・在宅医療推進協議会(4回)	
				・福岡県地域在宅医療センターにおいて、各地域における在宅医療・介護連携にあたっての課題検討、関係機関との情報共有・連携を図る。	・地域在宅医療センター:9保健福祉環境事務所に設置運営 地域在宅医療推進協議会:9回 相談実績:約2,226人	

施策			個別施策	計画 頁番号	事業概要	取組内容(実績:令和5年度)
項目	区分	内容				
		・心血管疾患に関する医療提供体制	○心血管疾患対策に係る人材の育成	37	保健・医療従事者等を対象に心血管疾患に関する研修会を開催し、資質の向上を図る。	「福岡県循環器病総合支援センター」と協力して次の研修会を実施 ・第7回よかよかネットワークの会～地域で心不全再入院を防ぐ取り組み～(参加状況:15医療機関、63人) ・第8回よかよかネットワークの会～急性期病院から地域生活に戻るための医療連携の強化～(参加状況:22医療機関、71人) ・心不全、脳卒中後遺症に対する治療と仕事の両立支援を考える(参加状況:17医療機関、58人)
			○多職種が連携した地域包括ケアシステム構築	37	在宅医療や介護及び福祉の連携を推進するため、医療や介護・福祉等の関係者を対象とした連携のための研修会を開催する。	(令和6年度から実施)
		・医療従事者等の人材確保及び育成	○多職種の連携に関するもの	40	関係職種を対象とした研修会を開催し、相互の理解や資質の向上を図る。	「福岡県循環器病総合支援センター」と協力して次の取組を実施 ・福岡県PSLS講習会(1回)
			○医師に関するもの ○歯科医師に関するもの	40 41	【寄附講座設置事業】県内の医学部を有する大学(九州大学・福岡大学・久留米大学・産業医科大学)に寄附講座を設置し、救急医療体制や周産期医療体制、へき地医療体制に課題のある医療機関に対し医師を派遣する。	〈寄附講座設置事業〉令和4年度から令和6年度までの派遣については、八女・筑後、田川、京築にある6医療機関に対し、毎年20人の医師を派遣
					【緊急医師確保対策奨学金】 久留米大学医学部に福岡県特別枠を設け、医師確保が困難な診療科に将来従事しようとする医学生に奨学金を貸与する。	〈緊急医師確保対策奨学金〉 令和5年度は、新たに入学者5人に対し、奨学金を貸与(貸与者22人)
					【専門研修資金貸与事業】 県が指定する診療領域(産科・小児科・総合診療)において、専門医の取得を目指す医師に対し研修資金を貸与する。	〈専門研修資金貸与事業〉 貸与期間の継続者及び新規申請者に対し研修資金を貸与 継続:11人、新規:6人
					【自治医科大学運営費負担金】 自治医科大学運営費を負担することにより、自治医科大学卒業医師を県内のへき地医療に派遣する事業。	〈自治医科大学運営費負担金〉 8医療機関に8人派遣
			○薬剤師に関するもの	41	地域の実情に応じた医薬品提供体制を確保するため、薬剤師の確保及び地域偏在や業態偏在の解消に向けた取組を行うとともに、薬剤師会等関係機関と連携して、各種研修会等の開催を通じて薬剤師の資質向上を図る。	(令和6年度は、病院薬剤師確保のための就職(復職・転職)支援セミナー、病院薬剤師の就職・転職に活用できるマッチングシステムの構築等を実施)
			○保健師に関するもの	41	保健師に関する研修の実施や市町村保健師就職懇談会の実施等により保健師の資質向上と人材確保を図る。	・階層別研修や市町村保健師就職懇談会を実施 階層別研修:新任研修(2回)、中堅研修(2回)、管理期研修(1回) 市町村保健師就職懇談会(1回)

施策			個別施策	計画 頁 番号	事業概要	取組内容(実績:令和5年度)
項目	区分	内容				
		・医療従事者等の人材確保及び育成	○看護師・准看護師に関するもの	41	訪問看護等の医療・介護・福祉サービスに従事する看護職員の需要が増加傾向にあることを踏まえ、看護師等の確保に努める。	・福岡県ナースセンター及び各サテライトにおいて、求人施設の勤務環境の把握や求職者の希望にあった無料職業紹介を実施(ナースセンター相談件数21,863件)
					離職時の届出制度による届出を促進し、就業啓発及び再就業の支援を図る。	・離職者の就労に対する不安を解消できるよう、実践的な研修を実施 看護力再開発講習会2回 看護職技術セミナー(採血・注射編)12回 看護職技術セミナー(喀痰吸引編)3回 看護職技術セミナー(感染管理編)3回
					循環器病に関する高度で専門的な医療に対応できるよう、看護師等の資質の向上を図り、看護の専門性向上に努める。	・特定行為を行う看護師を養成するため、特定行為研修の受講を促進する医療機関を支援 特定行為研修推進事業費補助金交付件数:34件
			○管理栄養士・栄養士に関するもの	41	管理栄養士・栄養士養成施設や関係団体等と連携し、人材の確保や資質の向上を図る・	・各保健所において、管理栄養士・栄養士養成施設からの臨地実習の受入を実施(受入人数69人)
			○歯科衛生士に関するもの	41	歯科保健に関する研修の実施や求人情報の提供により歯科衛生士の資質向上と活用を図る。	・県歯科医師会と連携し、未就業歯科衛生士名簿を作成し、名簿登録者に対する情報提供や研修を実施 未就業歯科衛生士に対する研修会・相談会(3回) 就業成立件数:6,850件
			○理学療法士・作業療法士・言語聴覚士に関するもの	42	厚生労働省所管の理学療法士、作業療法士、言語聴覚士養成施設の指定等を行う。	養成施設からの申請があれば、法令、基準に基づき審査(当該養成施設に関する指定等の実績なし)
			○介護支援専門員(ケアマネジャー)に関するもの	42	介護支援専門員実務研修受講試験や各種研修を実施することで介護支援専門員の養成、資質の向上を図る。	・介護支援専門員の養成、資質の向上を図るため、介護支援専門員実務研修受講試験や各種研修を実施 介護支援専門員実務研修受講試験受験者:2,202人 主任介護支援専門員研修修了者:227人
		・患者の状態に応じたリハビリテーションの提供や適切な緩和ケアの推進	○リハビリテーションの体制整備	44	介護職員等を対象とした口腔ケア等の重要性の理解を深める研修の実施により、在宅歯科医療と連携した摂食・嚥下リハビリテーションを推進する。	・県歯科医師会と連携し、高齢者施設や障がい者(児)施設の職員等を対象とした口腔ケアの重要性等を学ぶ研修を実施 高齢者施設の職員等を対象とした研修会:1回(Web) 障がい者(児)施設の職員等を対象とした研修会:2回(Web)
			○福岡県障がい者リハビリテーションセンターによる支援	45	福岡県障がい者リハビリテーションセンターによる支援	・福岡県障がい者リハビリテーションセンターによる支援を実施

施策			個別施策	計画 頁番号	事業概要	取組内容(実績:令和5年度)
項目	区分	内容				
		・患者の状態に応じたりハビリテーションの提供や適切な緩和ケアの推進	○医師等に対する緩和ケア研修会の実施	45	専門的な緩和ケアの質を向上させ、患者と家族のQOLの向上を図るため、関係学会等と連携して、医師、歯科医師、薬剤師等に対する循環器病の緩和ケアに関する研修会等を通じて、緩和ケアの提供体制を充実させる。	「福岡県循環器病総合支援センター」と協力して次の研修会を実施 ・第7回よかよかネットワークの会～地域で心不全再入院を防ぐ取り組み～(参加状況:15医療機関、63人) ・第8回よかよかネットワークの会～急性期病院から地域生活に戻るための医療連携の強化～(参加状況:22医療機関、71人) ・心不全、脳卒中後遺症に対する治療と仕事の両立支援を考える(参加状況:17医療機関、58人)
	(3) 在宅療養等が可能となる環境の整備					
	・地域包括ケアシステムの構築	○地域で安心して療養できる仕組みの構築	48	・在宅医療の関係者からなる会議を開催し対策の協議及びネットワーク構築を図る。	・在宅医療推進協議会(4回)	
				・福岡県地域在宅医療センターにおいて、各地域における在宅医療・介護連携にあたっての課題検討、関係機関との情報共有・連携を図る。	・地域在宅医療センター:9保健福祉環境事務所に設置運営 地域在宅医療推進協議会:9回 相談実績:約2,226人	
				・訪問看護ステーション間の連携を促進し、24時間365日対応できる訪問看護の体制を整備する。	・訪問看護ステーション連携強化事業全体研修会1回、地区別交流会21回(7地区各3回)	
				・介護施設等関係者の看取りに係る理解を深め、ノウハウの修得を支援することで、看取りを行う介護施設を増やす。併せて、医療・介護従事者のACP取組み普及促進を図る。	・介護施設等看取り研修会(1回)	
	・かかりつけ医等の機能の充実と各専門職による支援	○かかりつけ医等を中心とした在宅療養支援体制の構築	48	歯科疾患の予防や口腔機能の維持・向上、地域包括ケアシステムの推進等のため、かかりつけ歯科医の重要性について普及啓発を行う。	・「福岡県歯科口腔保健啓発週間」に合わせ、県歯科医師会と連携して、広報媒体やイベント等を通じた普及啓発を実施 ポスターの掲示、パンフレットの配布:約2,680件 「いいな、いい歯。」クイズ:応募件数:6,191件 ラジオによる啓発:5回	
			48	・訪問看護ステーション間の連携を促進し、24時間365日対応できる訪問看護の体制を整備する。 ・介護施設等関係者の看取りに係る理解を深め、ノウハウの修得を支援することで、看取りを行う介護施設を増やす。併せて、医療・介護従事者のACP取組み普及促進を図る。	・訪問看護ステーション連携強化事業全体研修会を1回、地区別交流会を21回(7地区各3回)開催 ・介護施設等看取り研修会(1回)	
		○地域連携クリティカルパスの活用	48	かかりつけ医の機能強化と多職種支援の充実を図るため、地域連携クリティカルパス等の活用状況の把握や、効果的な活用方法について検討する。	【課題】 地域連携クリティカルパスの活用状況の把握ができていない。 ⇒本協議会で地域連携クリティカルパスの活用状況の把握について検討予定	
	(4) 小児期から成人期までの成育過程を通じた循環器病対策					
		・小児期から成人期まで必要な医療を切れ目なく行える体制の整備、自立支援の推進	○移行医療体制の整備	50	小児期と成人期の診療科間の連携を図り、必要な医療を切れ目なく受けられるよう移行医療支援、療養生活に係る情報提供・相談支援の在り方について検討を行う。	・小児慢性特定疾病患者の医療費受給者証の更新手続の際に、移行期に関するアンケートを同封し、県内の移行期医療の現状及びニーズについて調査を実施

施策			個別施策	計画 頁番号	事業概要	取組内容(実績:令和5年度)
項目	区分	内容				
		・小児期から成人期まで必要な医療を切れ目なく行える体制の整備、自立支援の推進	○学校健診等の実施	50	健康診断の実施により児童生徒の循環器病を早期に発見し、適切な指導を行うことで、QOL向上の支援、突然死の予防につなげる。	・学校医や関係機関と連携し、健康診断を実施(県立学校119校にて実施)
			○学校生活の支援	50	高等学校等に特別支援教育支援員(介助・学習支援)の配置	・県立高等学校等が申請し、その対象生徒の状況から必要に応じて特別支援教育支援員を配置 配置校数:11校
3 多職種連携による循環器病患者への支援の充実						
(1) 循環器病に関する適切な情報提供・相談支援						
		・科学的根拠に基づく正しい情報提供、患者に対する総合的な相談支援	○循環器病や医療サービスに係る情報提供	51	患者や家族が利用できる制度などの情報提供を行う。	「福岡県循環器病総合支援センター」と協力して次の取組を実施 ・県民向け啓発活動 ①脈博HEARTBEATEXPO2023「トークショー」「ミニレクチャー」 ②第14回県民公開医療シンポジウム ③Web市民公開講座 ・啓発物の作成、関係機関等への積極的な配付 ①福岡県循環器病総合支援センター 相談リーフレット 配布数約790部 ②脳卒中あんしん連携ノート ・県健康ポイントアプリを活用した循環器病予防に係る情報発信 ・県広報番組による相談窓口としてのセンターの紹介 ①FBS知っとくふくおか ②KBCとっても健康らんど
					病院等を対象に医療機能調査を行い、その内容を「ふくおか医療情報ネット」へ反映させ、県民に情報提供し、適切な病院等の選択を支援する。	・県内の病院等の医療機能情報を公開している「ふくおか医療情報ネット」を全国の病院等の医療機能情報を公開している「ナビィ」と連携
					県民が薬局の選択を適切に行うことを支援するため、「福岡県薬局情報ネット」において、専門の資格を有する薬剤師の人数や相談可能な内容などの薬局が有する機能の情報提供を実施。	・薬局機能情報の全国統一システム「医療情報ネット(ナビィ)」へのデータ移行
			○相談支援体制の構築	51	循環器病患者やその家族が病期に応じて生じる身体的・精神的・社会的な悩み等について、医療機関や患者団体等の機関相互の連携を推進する。	「福岡県循環器病総合支援センター」と協力して次の研修会を実施 ・第7回よかよかネットワークの会～地域で心不全再入院を防ぐ取り組み～(参加状況:15医療機関、63人) ・第8回よかよかネットワークの会～急性期病院から地域生活に戻るための医療連携の強化～(参加状況:22医療機関、71人) ・心不全、脳卒中後遺症に対する治療と仕事の両立支援を考える(参加状況:17医療機関、58人)

施策			個別施策	計画 頁番号	事業概要	取組内容(実績:令和5年度)
項目	区分	内容				
	(2) 循環器病の後遺症を有する者に対する支援					
			○医療機関等による相談支援等の実施	54	循環器病の後遺症を有する者が社会生活を円滑に営めるよう、医療機関や相談機関等が連携を図り、後遺症に関する相談支援や知識等についての情報提供など必要な取組を進める。	「福岡県循環器病総合支援センター」に相談窓口を設置し、患者やその家族に対する支援を実施 ・年間相談件数175件 脳卒中91件(院外8件)、心臓病84件(院外16件)
		・後遺症を有する者に対する経済的支援、福祉サービスの提供等	○高次脳機能障がいの後遺症を抱えた者に対する支援	54	専門的相談支援を行うとともに、支援ネットワークの充実等、支援体制の確立を図る。	・高次脳機能障がい支援拠点機関についての周知を図るとともに、関係機関と連携し支援を実施 〈普及・啓発活動〉 高次機能障がい支援講演会(1回) 高次脳機能障がい支援セミナー(2回) 〈連携支援体制〉 高次脳機能障がい相談支援連携調整委員会(1回) ネットワーク会議(支援拠点機関間)(5回) 〈相談事業〉 専用相談ホットラインの設置 各支援拠点機関にて相談を実施 家族相談会(15回)、家族交流会(3回)
	(3) 治療と仕事の両立支援・就労支援					
			○後遺症に対する理解の促進	56	循環器病患者が社会的に受け入れられ、自身の病状に応じて治療の継続を含めて、自らの疾患と付き合いながら就業できるよう、事業者を対象とした意識啓発セミナーを開催し、事業主への理解の促進を図る。	「福岡県循環器病総合支援センター」と協力して次の研修会を実施 ・心不全、脳卒中後遺症に対する治療と仕事の両立支援を考える(参加状況:17医療機関、58人)
		・患者の状況に応じた治療と仕事の両立支援、就労支援等の取組を推進	○長期的な復職・就労サポートの実施	56	障害者就業・生活支援センター等において、後遺症等障がいのある方の、一人一人の状態に応じた業務内容や働き方、配慮事項等について相談に応じるとともに、公共職業安定所(ハローワーク)等と連携し、必要な支援を実施。	障害者就業・生活支援センター等において、後遺症等障がいのある方の、一人一人の状態に応じた業務内容や働き方、配慮事項等について相談に応じるとともに、公共職業安定所(ハローワーク)等と連携し、必要な支援を実施
			56	障がいのある求職者と企業とのマッチングを柱として、就職相談会から職場実習、職業紹介、就職後の職場定着までの一連の支援を実施。	障がいのある求職者と企業とのマッチングを柱として、就職相談会から職場実習、職業紹介、就職後の職場定着までの一連の支援を実施	
			56	障がい者を対象とした職業訓練を実施	障がい者の雇用促進を図るため、障がい者能力に適応した知識及び技能を習得するための職業訓練(高次脳機能障がい者を対象に含む)を実施 7科目、入校者78人	